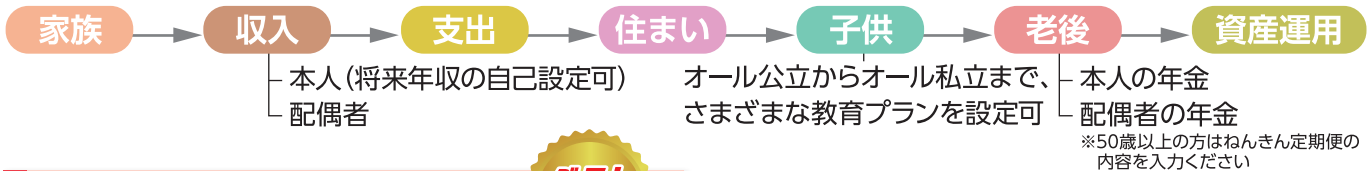


人生100年時代の

マイ・シミュレーションの活用方法

「マイ・シミュレーション」によって、将来への備えが容易になるだけでなく、何度でもプランを修正できるので、納得できるライフプラン設計に役立ちます。より効果的に活用いただけるよう、プランニングの考え方や条件設定のポイントを解説します。

設定項目 7画面の設定を行います



シミュレーションが必要な時

ベスト
7

CHECK

- 社会人になった時** 将来の人生設計を考え、家族形成や住宅購入などの仮プランを立てて人生のグランドプラン(構想)を描くときに大変有効です。
- 住宅購入を考える時** 住宅は人生最大の買い物です。購入時期、予算、ローン金利と返済期間など様々なパターンを設定し、慎重に考えるのに最適です。
- 結婚を考えた時** 結婚は人生の一大イベントですが、相手の収入や結婚後のプランは擦り合わせをしておきたいところ。結婚前にシミュレーションでお互いの価値観を確認するのに有効です。
- 子女誕生の時** お子様の誕生は喜びに満ちています。親としての責任を果たすためにも、何パターンか教育プランを想定しておきましょう。進学コースで予算は大きく異なることが分かります。
- 大きな買い物を考える時** 住宅以外にも自動車購入や海外旅行など、何度か大きなライフイベントが訪れます。イベント実施後の生活設計をチェックし、堅実に実行していきましょう。
- 10年後の必要年収を知りたい時** 10年後の必要収入を知っていますか?「そんなことは難しい…」と思っていませんか?シミュレーションを活用すれば、グラフをたどることで金額を知ることができます。
- セカンドライフを検討したい時** 50歳を過ぎると「老後不安」を感じるはず。必ずシミュレーションを実施しましょう。リタイアメントの最適年齢などが見えてきます。



年代別活用方法

20代・30代のシングルの方

生涯独身かも、という方は、住宅やリタイアメント年齢などをイメージしてみましょう。また、将来結婚するなら、家族の項目の「結婚予定」で男性は30歳、女性は28歳として設定してみましょう。

20代・30代の既婚者の方

住宅は購入年齢や予算、住宅ローンの金利と返済期間を、さまざまなケースを想定してシミュレーションしてみましょう。お子様の進学プランに合わせて、配偶者の収入をプランニングしましょう。

40代のシングルの方

例えば結婚した場合、また子供が生まれた場合、退職年齢が変わってきます。逆に、生涯独身であれば、70代で介護施設入居などをイベントとして考えておくことも必要かもしれません。

40代の既婚者の方

お子様の教育費は、国公立、私立、下宿などを組み合わせてシミュレーションし、収入面の検討を。必要なら奥様のパート勤めも想定し、住宅ローンの返済と合わせて家計への影響を確認しましょう。

50代の方

60歳時点での老後資金は3,000~4,000万円必要です。老後の公的年金の額は「ねんきん定期便」の金額を設定してください。そして、何歳まで働く必要があるかを考えてみましょう。

毎年12月に、シミュレーションを習慣化しましょう!

1年間の総括として、年末のシミュレーションを習慣化しましょう。源泉徴収票で収入と社会保険料(労使折半のため2倍で計算)、税金を確認し、1年で増やせた貯蓄額も記録して、来年の貯蓄目標を設定しましょう。

設定のチェックポイント

- 毎年の収入と支出のバランス**
改善 ①毎月の生活費10%OFF
②ダブルインカム、リタイアメント年齢の見直し
- 収支悪化の時期と原因**
改善 イベント予算の見直し
- 60歳・65歳時の予想金融資産**
改善 夫婦なら3,000万円以上が目安
シングルなら2,000万円以上が目安
- 我が家のお金の寿命**
改善 老後資金は80歳まで維持できるか?
- リタイアメント年齢は何歳が理想か?**